



# 2017年(平成29年)3月期 第3四半期 決算説明資料

---

ソーシャルワイヤー株式会社  
2017年1月31日

	2016/3期		2017/3期		
	1～3Q (百万円)	構成比	1～3Q (百万円)	構成比	前期比 (%)
売上高	1,437	100.0%	1,773	100.0%	123.3%
売上総利益	790	54.9%	939	52.9%	118.9%
営業利益	178	12.3%	156	8.8%	87.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	114	7.9%	85	4.8%	74.2%
EBITDA	262	18.2%	262	14.8%	100.0%

1. 売上高…全事業が堅調に成長中。子会社化したトランススマート社の寄与もあり大幅な増収。
2. 利益…販売力強化を目的とした人材投下（1Q一括）に加え、為替差損とフランチャイズ企業に関する貸倒引当金繰入額により減益。
3. 通期見通し…進捗を鑑み、業績・配当予想を修正。

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費  
 ※EBITDAについてはレビューを受けておりません。

3Q：連結業績

3Q：セグメント業績

連結貸借対照表／連結損益計算書

業績予想及び配当予想の修正

中期ターゲットと主な投資活動

# 連結売上高・売上総利益の推移（3Q）

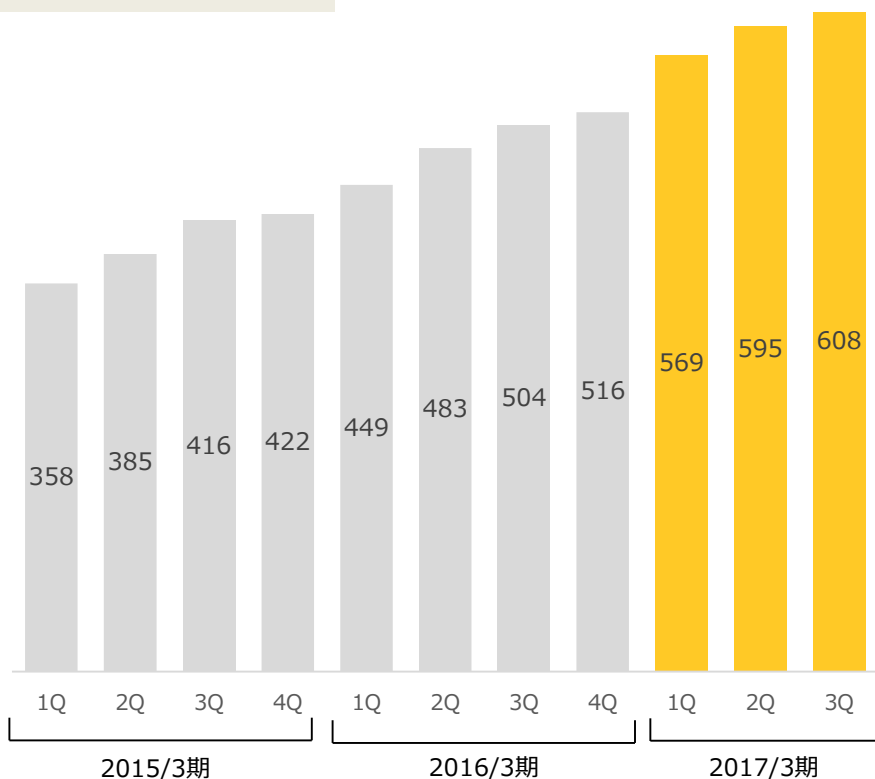
売上高

3Qは、成長中（ニュースワイヤー事業が予想未達、インキュベーション事業は好調）

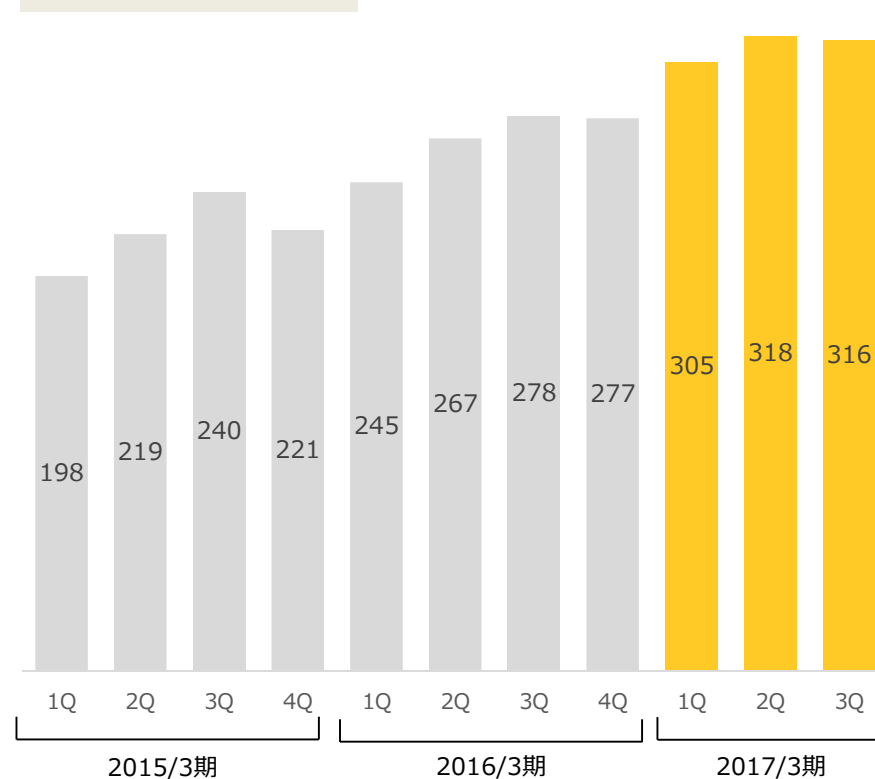
売上総利益

3Qは、微減（レンタルオフィス新設時の原価増が微影響…計画内）

売上高  
(百万円)



売上総利益  
(百万円)



※2015/3期における各四半期連結会計期間に係るデータ及びEBITDAについてはレビューを受けておりません。

# 販管費・営業利益の推移（3Q）

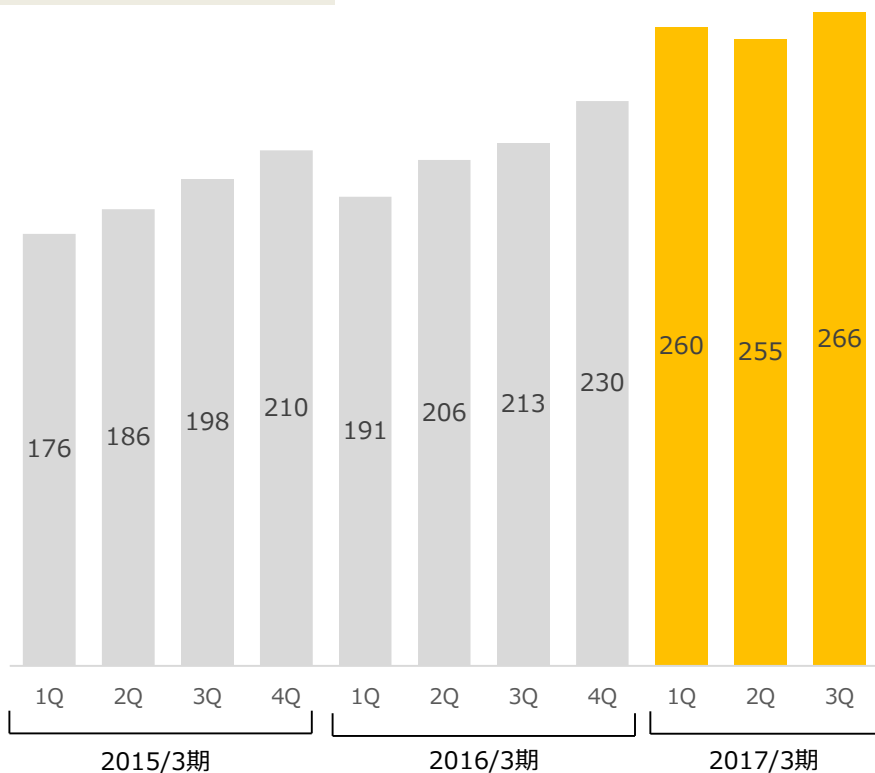
販管費

3Qは、**微増**（レンタルオフィス新設販促費で微増…計画内）

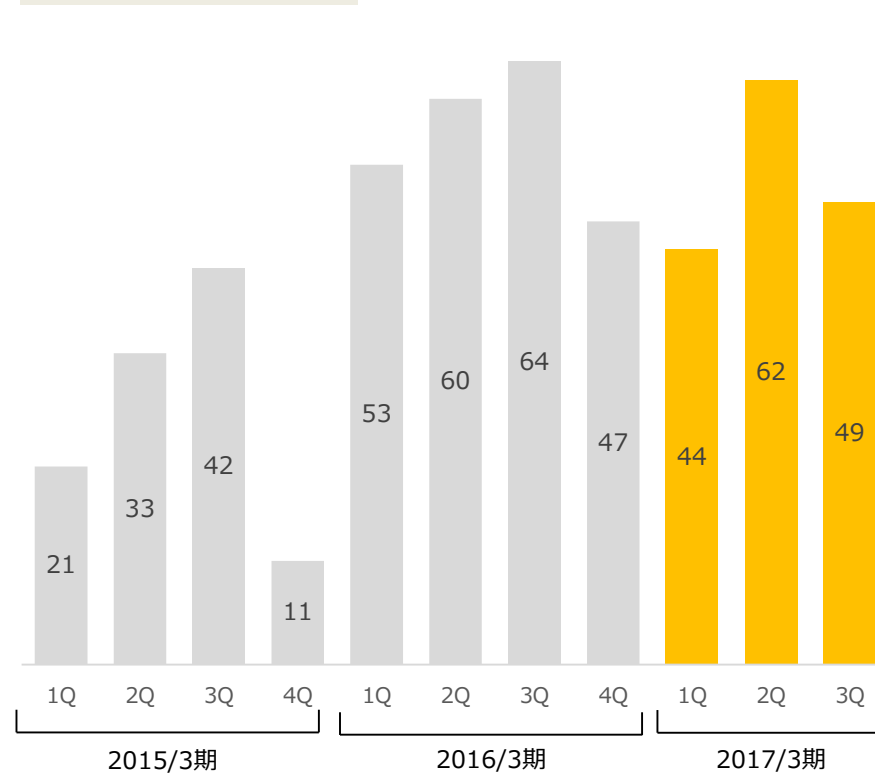
営業利益

3Qは、**微減**（ニュースワイヤー事業予想未達が影響）

販管費  
(百万円)



営業利益  
(百万円)



※2015/3期における各四半期連結会計期間に係るデータ及びEBITDAについてはレビューを受けておりません。

# 経常利益・純利益・EBITDAの推移（3Q）

経常利益

3Qは、微減（営業利益微減ながら1～2Qに計上した為替差損が若干回復）

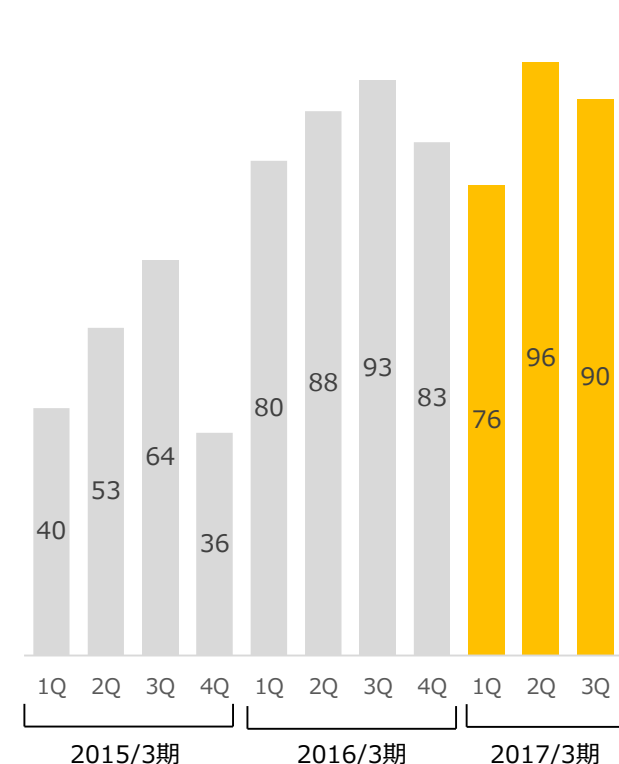
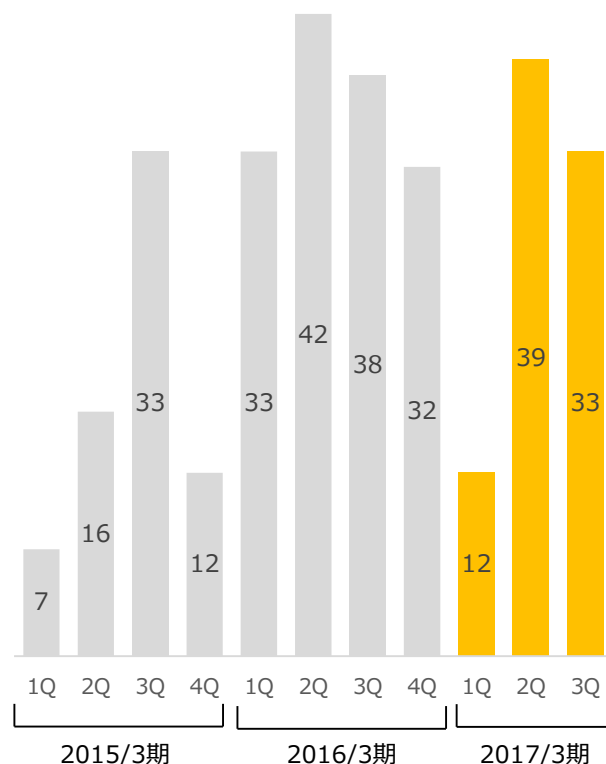
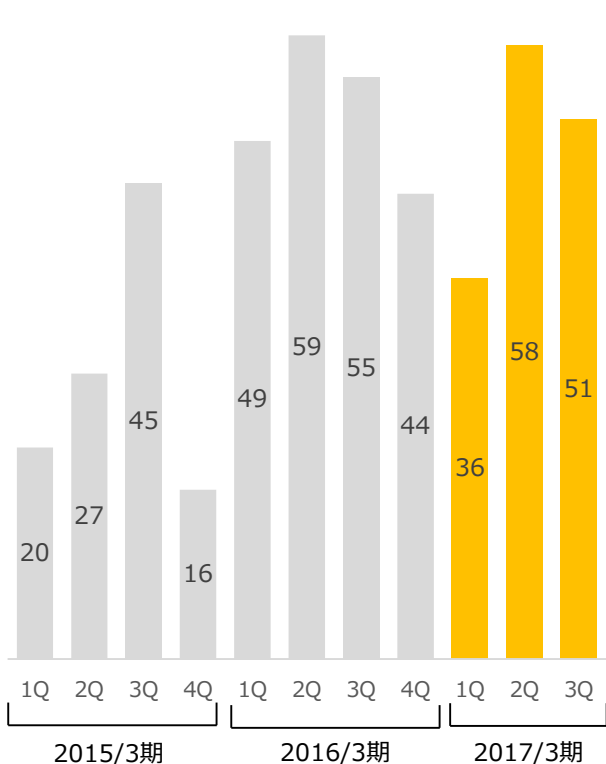
四半期純利益

3Qは、微減（営業利益／経常利益の微減の為）

経常利益  
(百万円)

四半期純利益  
(百万円)

EBITDA  
(百万円)



※2015/3期における各四半期連結会計期間に係るデータ及びEBITDAについてはレビューを受けておりません。

3Q：連結業績

3Q：セグメント業績

連結貸借対照表／連結損益計算書

業績予想及び配当予想の修正

中期ターゲットと主な投資活動

# セグメント別売上高・売上総利益の推移 (3Q)

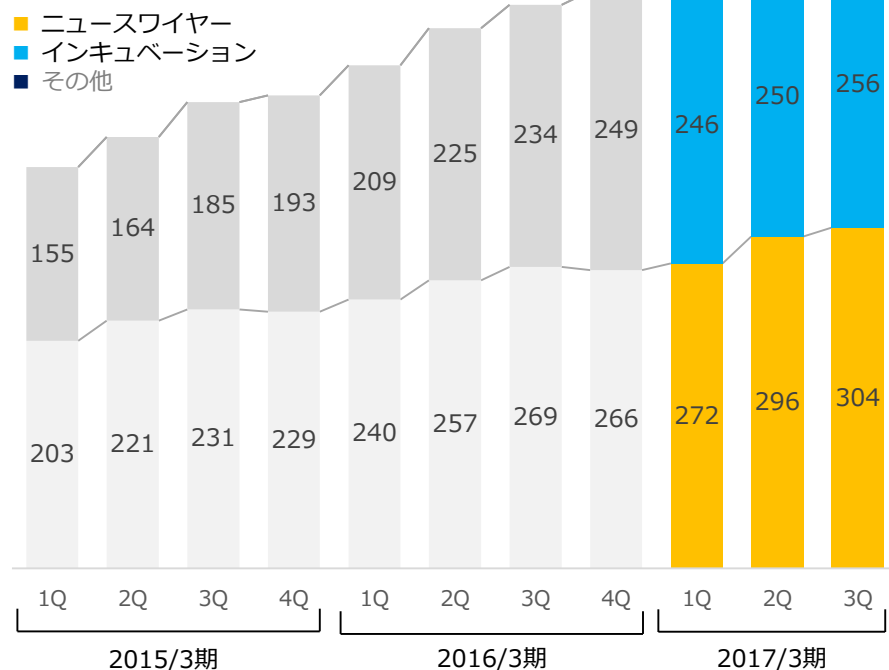
売上高

ニュースワイヤー  
インキュベーション  
成長中だが、見込み成長加速に及ばず  
見込み以上に、順調に成長中

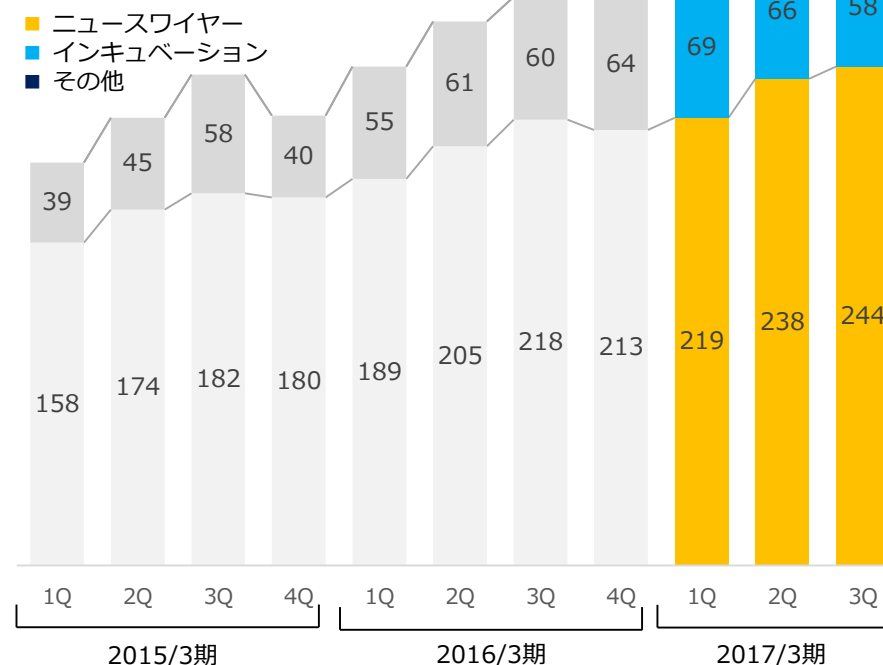
売上総利益

ニュースワイヤー  
インキュベーション  
成長中。但し、見込み成長加速に及ばず  
新規拠点設営時に一時的に下がる傾向  
但し、これは計画内推移

売上高  
(百万円)



売上総利益  
(百万円)



※2015/3期における各四半期連結会計期間に係るデータについてはレビューを受けておりません。

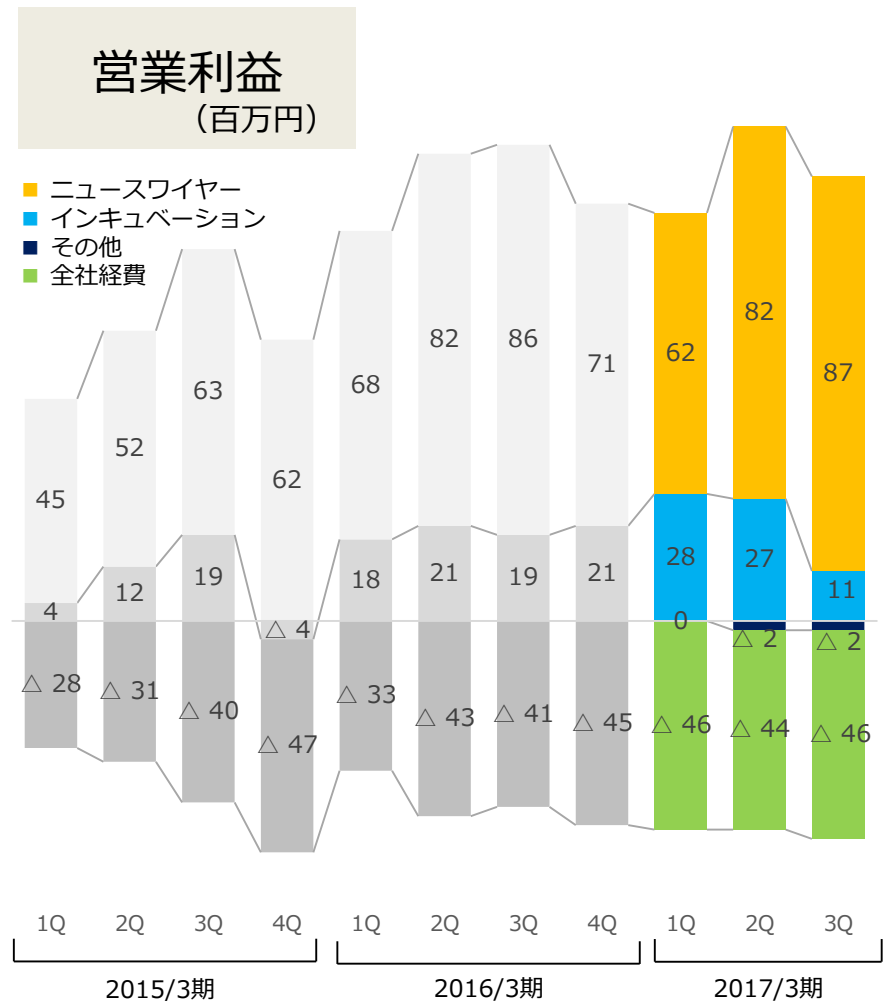
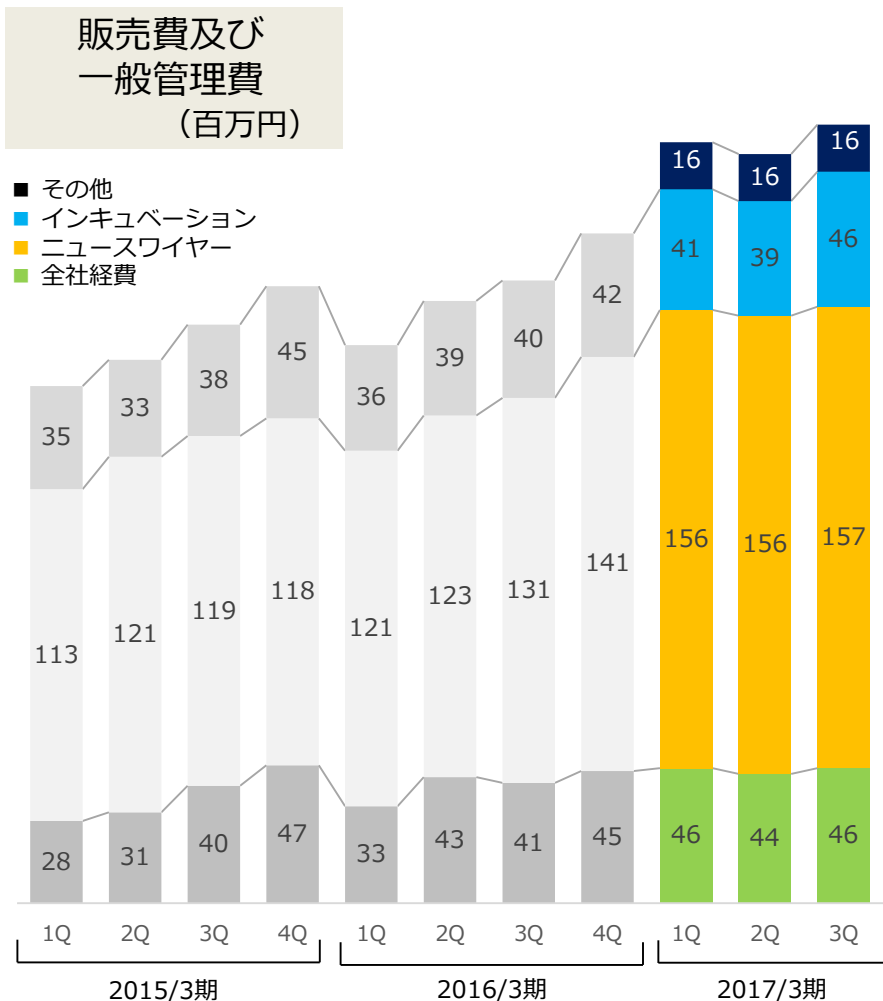


# セグメント別営業利益・営業利益率の推移 (3Q)

## 営業利益

ニュースワイヤー  
インキュベーション

成長中だが、見込み成長加速に及ばず  
新規拠点キャンペーンによる一時的減少  
但し、これは計画内推移

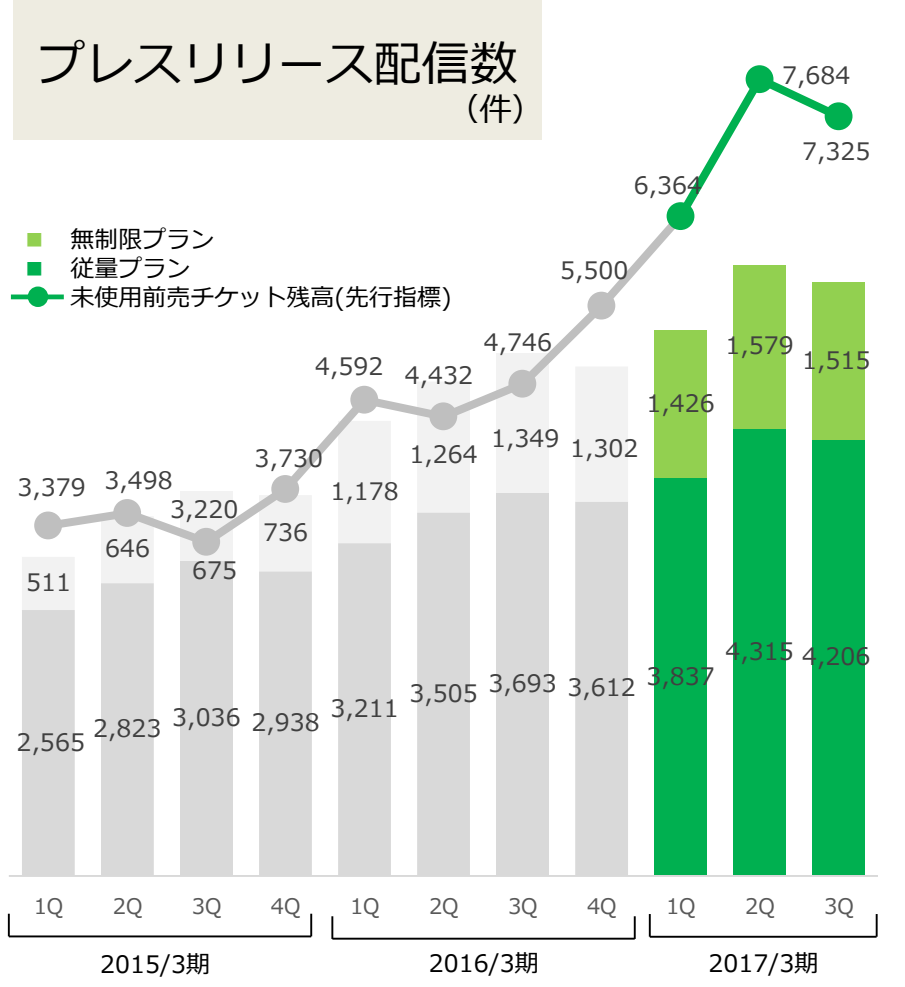
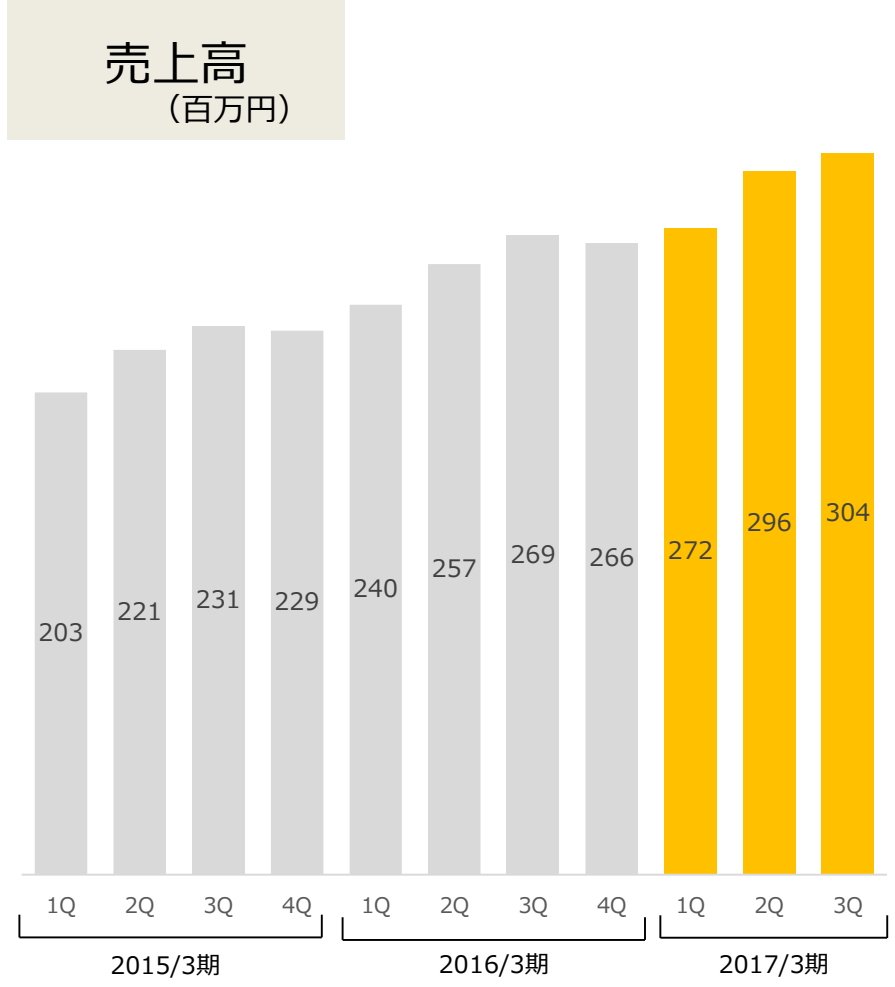


※2015/3期における各四半期連結会計期間に係るデータについてはレビューを受けておりません。

# ニュースワイヤー事業 (1~3Q)

従量・無制限プランいずれも増加 (前年同期比118.7%)  
 チケット残高増も増加 (前年同期比155.2%)

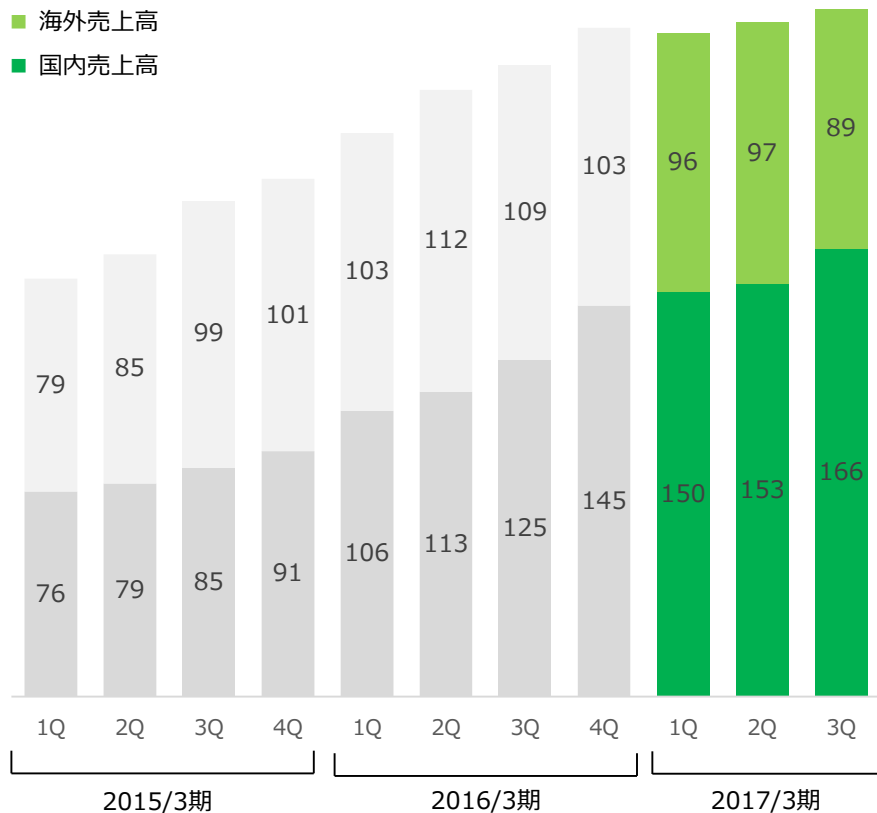
成長推移中  
 但し、当初見込みには及ばず。



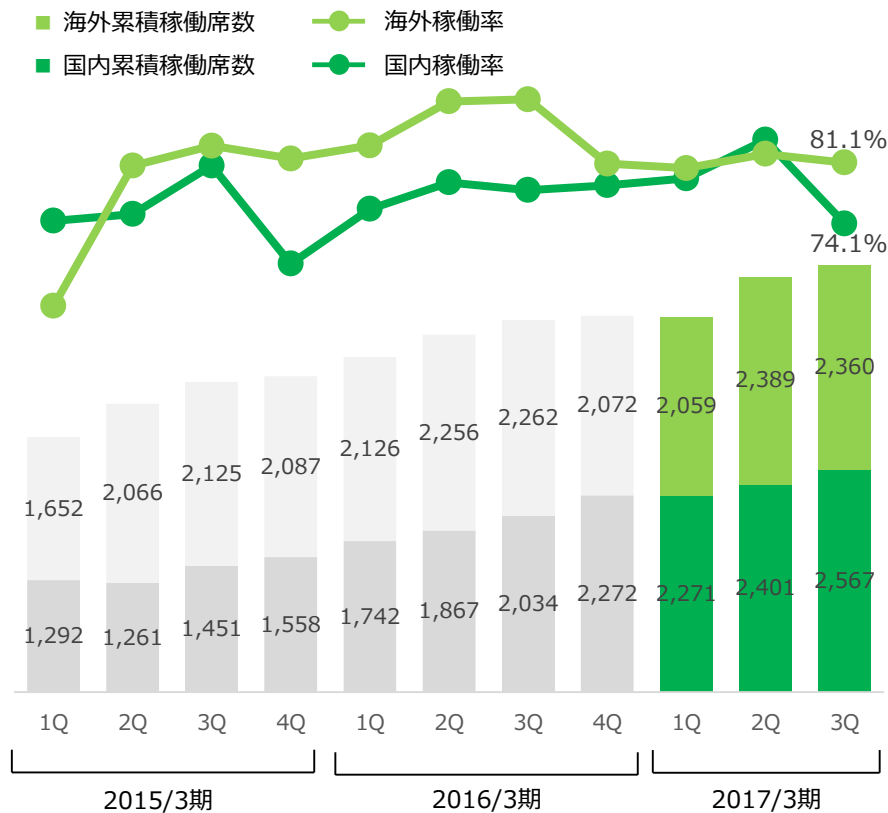
※2015/3期における各四半期連結会計期間に係るデータについてはレビューを受けておりません。

国内は、仙台拠点・新宿増床により稼働席大幅増（前年同期比128.2%）  
 海外は、稼働席ほぼ横ばい（前年同期比102.4%） 但し円高為替換算で売上減

## 売上高 (百万円)



## レンタルオフィス累積稼働席数 (席)



※2015/3期における各四半期連結会計期間に係るデータについてはレビューを受けておりません。

3Q：連結業績

3Q：セグメント業績

連結貸借対照表／連結損益計算書

業績予想及び配当予想の修正

中期ターゲットと主な投資活動

	2016/3期		2017/3期	
	1~3Q (百万円)	通期 (百万円)	1~3Q	
			(百万円)	前年同期比 (%)
売上高	1,437	1,953	1,773	123.3%
売上総利益	790	1,068	939	118.9%
営業利益	178	225	156	87.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	114	146	85	74.2%
EBITDA	262	346	262	100.0%

売上高

(百万円)

**1,773**

前年同期比  
**123.3%**

2016/3期  
1~3Q

2017/3期  
1~3Q

営業利益

(百万円)

**156**

前年同期比  
**87.9%**

2016/3期  
1~3Q

2017/3期  
1~3Q

EBITDA

(百万円)

**262**

前年同期比  
**100.0%**

2016/3期  
1~3Q

2017/3期  
1~3Q

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費  
※EBITDAについてはレビューを受けておりません。

# 連結貸借対照表

	2016/3期末		2017/3期 3Q末			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期末比 (%)	主たる変動要因
流動資産	765	41.7	758	34.6	99.1	
固定資産	1,070	58.3	1,435	65.4	134.1	レンタルオフィス増床による差入保証金(敷金)の増加
<b>資産合計</b>	<b>1,836</b>	<b>100.0</b>	<b>2,194</b>	<b>100.0</b>	<b>119.5</b>	
流動負債	695	37.9	892	40.7	128.4	プレスリリース前売りチケット残高増加 レンタルオフィス増床のための借入増
固定負債	334	18.2	500	22.8	149.4	
<b>負債合計</b>	<b>1,030</b>	<b>56.1</b>	<b>1,392</b>	<b>63.5</b>	<b>135.2</b>	
株主資本	762	41.5	786	35.8	103.2	
(自己株式)	—	—	(△44)	(△2.0)	—	自己株式38,400株を取得
非支配株主持分	13	0.7	22	1.0	172.5	
その他	30	1.7	△7	△0.3	—	為替換算調整勘定(為替差損)による減少
<b>純資産合計</b>	<b>806</b>	<b>43.9</b>	<b>801</b>	<b>36.5</b>	<b>99.4</b>	
<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,836</b>	<b>100.0</b>	<b>2,194</b>	<b>100.0</b>	<b>119.5</b>	

※自己株式金額は株主資本金額に含まれております。

3Q：連結業績

3Q：セグメント業績

連結貸借対照表／連結損益計算書

業績予想及び配当予想の修正

中期ターゲットと主な投資活動

単位：百万円	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	2,406	256	249	174	66.35
今回修正予想(B)	2,406	210	200	120	47.13
増減額(B-A)	—	△ 46	△ 49	△ 54	△ 19.22
増減率(%)	—	△ 17.9	△ 19.6	△ 31.0	△ 28.9
(ご参考)前期実績 平成28年3月期	1,953	225	209	146	60.64

## 業績予想修正の主な要因

### 1. ニュースワイヤー事業における成長加速の見直し

順調な成長推移にあるものの、更なる加速を期待して期首に実行した積極的な人材投資の効果が当初の見通しに及ばず、今年度通期においては利益計画が下回る見通しとなりました。

なお、インキュベーション事業は、計画よりも好調推移であることから、連結売上高の予想値は修正要因はございません。

### 2. その他

為替差損、フランチャイズ企業への貸付金に対する貸倒引当金繰入額の影響。



	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	—	普通配当 18円00銭	普通配当 18円00銭
今回修正予想	—	18円00銭 (普通配当 16円00銭) (記念配当 2円00銭)	18円00銭 (普通配当 16円00銭) (記念配当 2円00銭)
当期実績	0円00銭	—	—
(ご参考)前期実績 平成28年3月期	0円00銭	普通配当 15円00銭	普通配当 15円00銭

## 配当予想修正の理由

業績予想修正を踏まえ、

**普通配当18円→16円（前年実績15円）**と修正する。

設立10年記念にて、

**記念配当なし→2円（前年実績なし）**と加算する。

3Q：連結業績

3Q：セグメント業績

連結貸借対照表／連結損益計算書

業績予想及び配当予想

中期ターゲットと主な投資活動

# (FY20) GET 50

5年間で売上高50億円水準 営業利益5~10億円水準

FY20  
中期ターゲット

FY15  
東証マザーズ  
株式公開

創業





商号	トランススマート株式会社
所在地	東京都
代表者	代表取締役社長 服部 淳一
事業	クラウドワーカーを活用した翻訳事業
資本金	10百万円
設立	平成8年

前期比  
約2億円の  
増収効果

## 子会社化／サービスリニューアル 言語障壁の高いアジア各国へ展開予定

シェアリング  
エコノミー手法活用

アジア地域での  
高い親和性モデル

厳選された  
日本人翻訳者2,000人

直近合格率2.1%  
(合格者312人/  
挑戦者14,614人)

クラウドワーカー  
厳密なスコアリング

クラウド  
ソーシング型  
翻訳サービス



配信可能メディアを拡大し、  
8,500に更新！

継続的な  
商品開発により  
売上総利益率が  
前期比  
1.5ポイント上昇



全国メディアから  
地方メディアまで  
どこよりも幅広く配信可能



その他、

【2016年9月】延べ有料利用企業数15,000社を突破

【2016年10月】キュレーションメディアの新報告機能を追加

【2016年11月】ポジネガ分析機能を追加

@クリッピング

## 新聞・雑誌調査範囲を 更に拡大！

継続的な  
商品開発により  
売上&顧客増

業界No.1。 **2,500**メディア以上

### 新聞

全国紙・地方紙から  
専門の業界紙まで

### 雑誌

有名雑誌から  
低発行頻度の専門雑誌まで



その他、

【2016年7月】 新聞・雑誌メディア調査のWEB閲覧機能を実装

【2016年10月】 キュレーションメディアの新報告機能を追加

【2017年1月】 取引先リスク調査サービス開始

INCUBATION OFFICE  
CROSS COOP

アジア8都市目、国内では東京以外初の地方都市進出  
**CROSSCOOP仙台新規オープン**



最高級の  
ビルグレードで  
商品力・ブランド強化  
(22席契約済)

INCUBATION OFFICE  
CROSS COOP

2010年7月オープンから、お客様に支えられ3度目の増床。  
総席数380席で新宿区最大規模に！

# CROSSCOOP新宿SOUTH増床



最高級の  
内装グレードで  
商品力・ブランド強化  
(64席契約済)





機動的な資本政策の遂行と  
資本効率の向上を目的として

## 自己株式の取得を実施

発行済株式数の  
約1.4%を取得  
(av.1,171円)

### 自己株式の取得に関する決議内容

取得する株式の種類	当社普通株式
取得する株式の総数	41,000 株 (上限) (発行済株式総数 (自己株式を除く) に対する割合 1.50%)
株式の取得価額の総額	45,100,000 円 (上限)
取得期間	平成28年 8月26日から平成28年11月30日まで

### 上記取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計

取得した株式の総数	38,400株
取得価額の総額	44,976,100円

INCUBATION OFFICE  
CROSS COOP

経済・商業の中心地として人気の高い渋谷エリアへ初進出！

# CROSSCOOP渋谷オープン決定

NEW!





## アジアBPOプラットフォームへ

グローバルなビジネス環境を構築していきます。

# ご注意点

## ＜本資料の取扱いについて＞

本資料に記載されている契約や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

IRに関するお問い合わせ <https://www.socialwire.net/contact>

【毎月更新】株主・投資家の皆様へのメッセージ <https://www.socialwire.net/ir/messagelist>

株主・投資家の皆様へ

当社代表取締役社長 矢田峰之から  
株主・投資家の皆様に向けてのメッセージを掲載しています。



代表取締役社長  
矢田 峰之